

修了生の活躍事例

ポリテクで人生変わりました！

前職は営業職として、企業や個人を対象として多忙な日々を送っていました。しかし、コロナウィルスの影響から仕事が激減し、転職を考えるようになりました。営業職は好きでしたが、転職するのなら何かを作る仕事に携わりたいと思いました。ただ、具体的な職種のイメージは湧かず、途方に暮れていました。

そのような中、情報収集のため訪れたハローワークプラザ札幌で「職業訓練相談コーナー」の看板が目に入り、窓口でポリテクセンターの存在を知りました。話を聞いて建築の訓練に興味を持ちましたが、ポリテクの施設見学会で訓練風景を見て、ポリテク職員の話聞いて、機械・CAD技術科の訓練内容に興味を持ち、入所選考を申し込みました。

職業訓練を振り返ってみて。

全くの未経験だったので、毎日が新鮮で刺激的でした。機械製図の規格やCADでの効率的な図面の描き方を学び、自分の成長を感じることが出来ました。CAD以外にも金属を削る機械加工も学びました。CADの訓練に興味があっても受講したはずなのに、驚きの連続だった機械加工の方が印象に残りました。

就職活動のフォローもしっかりしていました。履歴書や職務経歴書の書き方、面接練習の個別指導等もあり、不安はありませんでした。ポリテクで発行している人材情報誌に掲載したところ、朝日通商株式会社から求人があり、会社見学を経て面接し、現在に至ります。

朝日通商株式会社

星野 麻耶 さん

[⇒前職：営業職(正規)]

機械・CAD技術科
(6か月訓練)

令和4年1月 入所
令和4年6月 修了



やりがいを感じる毎日を送っています。

CADの操作方法はもちろん、規格の訓練は非常に役に立っています。仕事を始めてまだ日が浅く、日々常に勉強で覚えることが多く大変ですが、自分の成長が実感できるため、毎日が充実しています。一日でも早く、プラント設備設計を任せられる人材になりたいです。



就職先企業での活躍

星野 麻耶さんの業務

部長の右腕として、プラント設備設計の補助業務をしています。具体的には部長が設計した設備を元に、顧客提示用の三次元データ修正や協力会社向けの加工用図面作成、購入部品の見積等を担当しています。



上司の声 常務取締役 兼 設計部長 澁谷 明浩 様

星野さんは非常に前向きな人で、物怖じせず色々質問します。ポリテクで習得した知識をベースに、どんどんと吸収して成長しています。今は設計の補助業務をお願いしていますが、将来的にはプラント設備設計を任せたいと考えております。



朝日通商株式会社 (北海道札幌市)

1964年に川崎重工業(株)破碎機事業部の北海道地区代理店として創業。一貫して砂利・碎石プラントの設置と機器の販売を行っている。そして、2003年に川崎重工業(株)と(株)神戸製鋼所の破碎機部門が統合して(株)アーステクニカを設立し、同社の北海道地区特約店として現在に至る。

(業務内容)

砂利・碎石プラント設備、産業廃棄物処理設備や各種産業設備の企画・設計・製作・施工・修理

